

1977年11月30日

通信内容

談話会通信 No.20

入会 住所変更 1
活動 三会合同例会 1
蔵書目録 10

東京蜘蛛談話会

おまたせいたしました。11月に発行しようと予定を組んでおりましたが、とうとう霜の季節になってしまいました。やはり2ヶ月の間があきますと、皆さんからのホットラインが積みあがります。特に自己紹介の欄には、みなさんからの生の声かよせられし編集者は一とて喜びを感ずるにやしません。そのほか今号には蔵書目録のページがあります。おみのかしないようご利用ください。
(田中)

新会員の紹介・住所変更

▶ **入会** : クモに興味をもたれる方の輪がひろがっています。新しく入会された皆さんぜひ情報収集等で通信を利用してください。

日大三島高校生物部 蜘蛛班

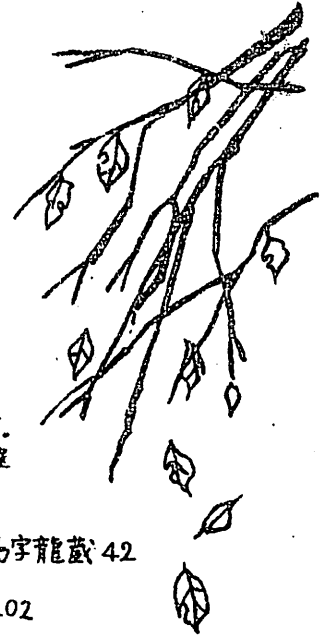
〒401 静岡県三島市文教町2丁目31-145

西貝正彦さん 〒165 東京都中野区上鷲宮 3-14-8

▶ **住所変更** : ささく名簿に記入されると良いと思います。年賀状の時期でもあります。ここで名簿の確認をされては いかがでしょうか。

神谷見正さん 〒441-34 愛知県渥美郡田原町大字豊島字龍蔵 42

垂水有三さん 〒662 兵庫県西宮市両度町 4-1-402



三会合同例会 12月25日(日)

三会合同例会の日取りが決まりました。今回は多足類、カニムシ・タニ・クモから各編の講演(発表)が集まっています。そのほかにも発表を募集しているとうていので予定されている方は、事務局まで連絡をお願いします。

場所 目黒大橋区民会館

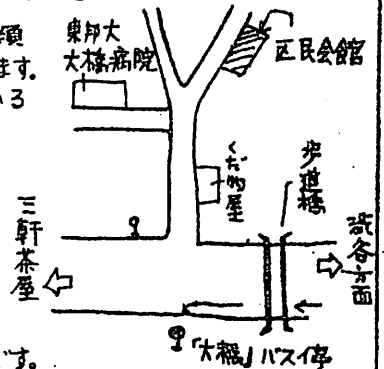
日時 12月25日(日) 午前10時より

昼食は 各自で 心配下さい。

会費 700円です。

なお 世話人は(茶茶楽)ササラ会の鈴木恵一さんです。

※ クモの発表では 夏の水クモ 調査についての報告が用意されているとのこと。





まぐれ ホース

▶ 佐藤幸子さんから観察記録が寄せられました。6-7月のものですが3匹モたちの様子がわかります。

7匹の子どもたち(昭和52年)

ネコハエトリ

昨年(昭和51年)の暮頃からアオキを自分のなわ張りとして、元気で越冬していたネコハエトリが、アカカカの糞袋を作った時クマを出していたその場所のすぐそばに卵のうを作りました。(発見は6月2日)
6月13日 ふ化(30個体以下20個体以上)
6月29日 分散始める。
7月2日 卵のう空となる。

分若女の第一期生は5匹。元来よく葉から茎へ茎から葉へと、次々と進んで行きました。自分勝手に進むので、ハツタリ兄弟と顔をあわせませず、2匹間をあげてニラミ合いか、カソソロと左へまわりこむと、相手は目を見合わせたまま同じく左へソソロと進みます。180度回転した時、後者はヒナリと葉の裏にかくれてしまいました。こんな事があつたとは驚きです。もう一匹が同じ葉の上を遊んで来ました。また、にらみ合いかが始まりましたが、前者がまたまわりこみ始めると、ヒックリキョーテンした彼の子がモ、何を思ったか一目散に自分のやって来た路を縦ひかえり、あっという間に卵のうの中に入りこみ一日おて来ませんでした。

アリクモ(その1)

ツバキの葉の間に卵のうを見付けました。
6月13日 卵のう発見
6月17日 ふ化(30個体以下20個体以上)
6月29日 分散始める。
7月2日 卵のう空となる。
卵のうから第一期生が生れたのはたった2匹でした。

最初の1匹はドンドンまわす前進して行きましたが、後から続いてコロコロ歩き出した1匹は、一分もしない内にソワソワ卵のうに帰って行きました。けれどリア大変、自分の出て来た時間が見あたらず中に入れません。夢中になって卵のうの上下左右はしりまわっていましたが、とうとう卵のうにかみついて小さな穴を作ると無事内側にむりこみこみました。クモの世界もやはり元気のなるとオフビョウなのと、一匹一匹個性を持っているのたなとツツツク用いました。

アリクモ(その2)

7月2日 卵のう発見
7月6日 分散始める

卵はシロの葉に生みつけられました。ふ化して分散するまでまだ闇があると考え、それでも4日目に様子を見に行くと、すでに分散が始まったところで非常にヒックリしてしまいました。数は少なく10個体から15個体位であつたでしょうが……。

春先から夏にかけて気温が上がるにつれて卵からふ化し分散する日数がたぶん早くなつて行くのはわかりますが、こんな超スピードは始めてです。

▶ 蜘蛛屋と鳥屋と……

ちょっとおもしろい習性をもったきました。これは自己紹介にとも思いましたが、他己紹介ということで紹介します。

その1

木公田まゆみ

「蜘蛛と鳥」とは全く関係のない様で、実は非常に関係があるのです。それは、ある種の鳥が蜘蛛の糸を利用して巣を作ったり、蜘蛛は鳥にとって非常にすばらしい食料源であるというような関係だけでなく、鳥屋と蜘蛛屋という面です。

鳥屋であり蜘蛛屋であると言えは、もちろん高野氏のことです。鳥もかじっている私から見ると、鳥屋さんから見ると高野氏と、蜘蛛屋さんが見ると高野氏とは、ことごとく微妙に違っていて、彼らの

—吉川伊智郎—

9月の北海道の山々ではすでに紅葉もはじまりました。また嵐も横浜の11月下旬の冷たさでした。(オホーツク海)とのオホーツク海でカサをひいたらびと頭がホケーとしているのと北海道ホケになってしまってホケまホケとしているのです。しかし空気と食べ物最高でした。—中略— 用心な蜘蛛のことは言う。自由時間もあまりなく、おまけに外出時の班長になってしまったので、常に班の連中と一緒にいなくちゃならないのでさっしりでした。でも花採集したクモを書くことにします。

- オニグモ♀ アカオニグモ♀ 体長 19.5mm
- キバナオニグモ♀ 体長約 20mm 夕447サラクモ♀
- カムラオニグモ♀ ツリカネヒメグモ♀
- オヒメグモ・キタヨウ♀ (はきりしません)
- ハエトリグモ一種♀ ウロコアシナガグモ♀
- コモリグモ一種・その他不明種 3

こんなもので。以上採集した蜘蛛です。私の希望していた コウモリオニグモやエゾトタテグモなどは採集できませんでした。それからアカオニグモを標本にしたのですが赤色が消えてしまうのではないかと思うのです。赤色の消えない薬品などないものでしょうか。もしあるようでしたら、その名をおしえていたいただきたいのですが。

追伸 とても便利なことを紹介します。目グサのガラになった容器にグリセリンを入れておき、標本を作った時上からホタリホタリとたらしやれば、余分にスボイドはいりません。まだ知らない人たちはおたし下さい。乱筆で失礼します。

※眼薬のビンには 若石調剤のあり希塩面交を入れて持ちあふけたり便利ですね。このような利用方法がほかにもありましたらぜひお知らせください。

(田中)



高野氏とめぐる話を聞いていると、とても面白いものなのです。たとえば、蜘蛛屋いわく「高野先生は、鳥もやっていたらしくる人ですってね」。クモの産地では「私は鳥もやっていたのですか」などとアツマシやかにいら、しやるので、一部のクモ屋さんは「鳥の方もやっていたらしくる」と思っているようです。これは鳥屋さんにとっては驚くべきことなのです。鳥屋さんから見れば、高野氏といえは、野鳥の生態写真家・観察者として崇拜すべき神様のような人なのです。ですから、鳥屋さんでも「クモをやっていたらしくる」ことを知らない方は、「高野さんは、クモもやっていたらしくる人ですか!!」ということになるのです。私は時々旅行に出かけ、その土地の鳥屋さんと時々会って話をするところがあるので、住所を訪ねられ、「東京の日野という所に住んでいるのですが、……」と言うと、大抵いのが「ああ、高野さん住んでいる所と同じですね。」という返事がかえってきます。そして「偉大な高野氏」をめぐると花がさくのです。何しろ前日本鳥類保護連盟指導部長、現在日本野鳥の会理事、日本鳥学会幹事であり、鳥学会例会などに顔を出すと、いつも司会をいら、しやいます。そして去年まで東京支部（今年はうまくのかれてしまわれたらしくる人ですか）

もうお気づきだと思いますが、鳥仲間では、高野さんなのです。とにかく高野先生とお呼びすると、しくりされないためか、高野さんてとあっておられます。(以上)

※高野さんの他己紹介ですね。次会はぜひ、松田先生の自己紹介をおよせください。

▶ 9月の北海道

9月に2人の高校生 貞元・吉川両氏から 楽しい報告がありました。修学旅行に出ておははりクモ屋さんです。北海道でちょっとの暇を利用してクモをみてきてくれました。吉川氏には無断ですが紹介してしまいます。(失礼をお許しください。)

北海道修学旅行アカオニグモ・キバナ
クモ採集紀行

貞元己良

昭和52年9月2日、19時50分上野発ゆづり
一号で北海道へ向けて出発。札幌に着いたの
は翌日3日の13時40分であった。あいにくの雨の
中をバスの中から市内見学をしながら宿泊地
「定山溪」へ。夜、外出してクモを採集。小雨の
はらつく中でツリカネヒメグモとオニグモ
を採集。

9月4日(野幌の北海道開拓記念館見学)
この地で吉川君がタイリクサラグモを採集した
糸網の大きさ、地面からの高さなど、詳しい調査
はできなかった。なぜならほく達のクラスは
一番最後であり、みんなから遅れることは許され
なかつたからである。

神古居潭で昼食後バスの出発時間まで
採集。ここでほくはオオハエトリをつかまえた。
時間と場所に関りがあるのであまり採集して
いる余裕がなく今日の宿泊地「温根湯」へ
向った。本当にアカオニグモ・キバナオニグモが
採集できるのかという不安がでてきたのもこの
ころでした。

9月5日(オホーツク海原生花園にて15分
ばかり見学)見学中、高さぐらゐの高さには
えいごハマナスの花の中に円網を発見。ど
うせオニグモだ、ろうと思ひ、クモがゑんてい
まの葉をわしづかみしてロックリ、なな々と
アカオニグモであった。

9月6日(日高というところで昼食)
出発時刻まで約30分クモを採集。いかい
と殺風景な所なのに……なな々と、吉川
君がキバナオニグモを採集してしまった。かゝ
ほくは複雑な気持ちの中で「吉川君 良かった
ね。」と言ひつた。

9月7日(熊牧場にて)
ここでほくは、キバナオニグモのみを採集した。
喜んでゐるもつかの間の幸せ。その後長万部
で吉川君がアカオニグモを採集。それもほく
が採集したものより大きいやつを……。この時
ほくは正直なところ、何か気のぬけた気持ちの

中で「吉川君 良かったね。」と言ひつた。
それから時間経たず、(園内)所
を見学すまたも吉川君はキバナオニグモを
採集。しかし吉川君はそのキバナオニグモ
をほくに……。うう、感激「吉川君
アリガトウ」……。

わけあゐの心が生まれたところでこの修
学旅行が終つた。

※ 9月の北海道を紹介していたけ
ました。ここに登場してくるアカオニグモは
どのくらいの色になっていたのでしょうか。興
味があります。

訂正とお詫び

北海道からの報告が続きました。先
号(No.19)で佐藤幸子さんからの報告を
紹介した際、まちがった報告をいたしました。
訂正してお詫び申しあげます。(田中)

北海道ミズグモ探察紀行P3中段
『北海の凍海の石鏡の白石少に 皆……』
とありましたが、『北海の凍梅の石鏡の……』
となります。つまり東海(北が川)→東梅と
なります。地名との連絡をいたしたきました。
訂正よろしくお願ひいたします。

田中穂積さんから9月20日付
で通信関係の手紙をいただきました。
直接通信あてては「ないです」部
編集局より無断で紹介いたします(失
礼を不許ください。)

「前略」
いつもいつ KISHIDAIA までその談話
会通信集に読ませているにいてありま
す。(投稿もせずさぼつておりますが。)
特に最新談話会通信の巻、おもしろ
く、また様に思ひます。これからむとど
し、いろいろの雑談、載
せてほしいと
思ひます。」



野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕

利用をさむたくせん 男モクモク

「男モクモク」は、野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕



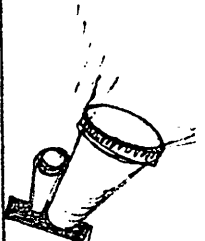
野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕

野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕


野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕

野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕

野島... 高橋... 12-X(OCT)1977 『復興日報』 夕



自己紹介

前号で自己紹介の企画を発表しましたところ
さきに紹介文がいたただけました。せひみなさん
もこの機会に紹介文を書いて下さい。なほ「できれば」
みなさんの紹介の場したいと思いますので、
自由な企画人や、スモも受けたいと思います。ハカキ
の  半分を使っていたいただけます。そのまま紹介するこ
とができます。よろしくお願ひします。

現在東北大学農学博士課程の三年です。曲学部、森林動物と
いう研究室に所属しています。家族は、現在妻一人子一人(今年五月ま
かまを二歳二ヶ月、仕事は、マツカシ、若狭幼虫の死七原、因か何で
あるかを調べています。多額せいの中にはいつかあります。将来もクモを
中心に仕事をやっていきたいと思います。就職先次第です。い
かクモを育てることはありませぬか。クモは生態図かまかまな
りので、多くの昆虫が現われることを期待しています。

▲ 横浜市、松井均ヤシからいたしてきました。

クモは何よりも好きで、男の子、美女子の皆様。私は埼玉県のいまにゆかに
脚光を浴びている町、松伏町(まふし)の鈴木勝治です。ただいまはサマです。
クモには美女子で魅かれたのかもしれない。また孤独にたえる美し
さの甲に秘めている精神力に圧倒されてしまったのかもしれない。
とにかく皆様にまけないくらいクモが好きです。
談話会の例会、採集会などに参加するようになってから、だ
クモに教えてもらうようになりました。(談話会の皆様もクモを
この世に与えてくださった神様には人とうに感謝しております。)
まだ、かけだしの田舎の蜘蛛野郎ですがどうかよろしくお願ひ
いたします。

▶ 現在職業は学生をやっています。高校3年の男子です。
名前、貞元己良 身長175.0 cm 視力両方0.1
東京蜘蛛談話会に入って1年と5ヶ月(10月現在)になります。
私の家は山の上にあります。窓から新宿の高層ビルが見える
のです。 現住所、神奈川県横浜市緑区竹山町1丁目
2番地11



モスグモ

幻の水生グモ

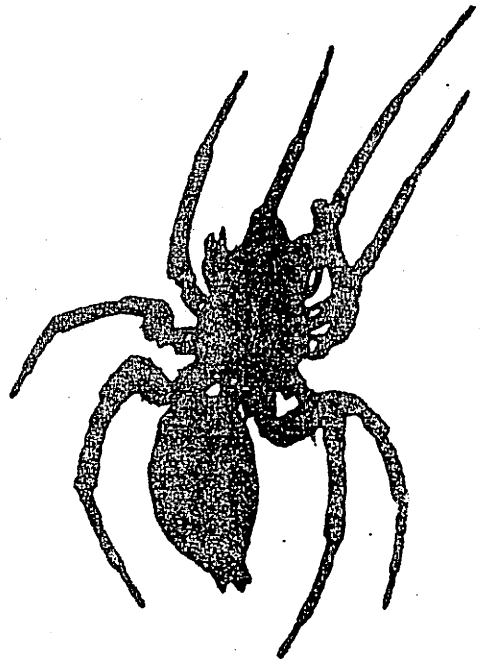
モスグモは、水生のクモで、池や沼に生息する。...



絶滅してなかった 日本では36年ぶり

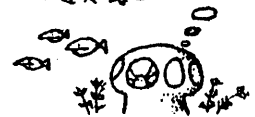
モスグモは、水生のクモで、池や沼に生息する。...

京の池にいた！一匹



モスグモは、水生のクモで、池や沼に生息する。...

提供：東京大学理学部
八木 浩 博士



けしばん

▶ KISHIDAIA

42号の原稿募集は、10月30日までに切らせていたのをまじした。ご協力ありがとうございました。編集局ではできるだけはやいお返しができますようがんばっています。

43号の原稿を募集いたします。

それは1978年5月31日になっております。投稿予定のあり方は、通信No.15(1977.2.28) KISHIDAIA投稿規定(1977年1月日より実施)をごらん下さい。

◀原稿受付▶

〒221 神奈川県横浜市神奈川区片倉町199
熊田 寛一

▶ 献書目録

献書目録をのせられた。必要の方はコピーにしてください。事務局までお申し出下さい。

◀事務局▶

東京都国分寺市本多 1-6-6
ミンカイ呼真館内 (新海築一)

▶ 自己紹介

自己紹介の欄に原稿をおよせください。お持ちせられたい方はハガキの半分に黒ペンで「お書きください。楽しいハガキをお返ししております。

▶ 12月の観察を

あとかい冬といつてもやはり冬は冬ですね。草木は枯れています。さてこの12月、みなさんちよと庭・道林に出てクモ観察をなさってみてはいかがですか。12月25日~31日までの

日本各地の一口観察をおよせください。お待ちしております。→ 通信受付へ

※ 振り込み 東京・7-74885
東京蜘蛛談話会
[国分寺市本多郵便局振]

会費 52年度会費は1500円です。53年度会費も1500円となっております。

振り込み 東京74885

だいぶ長い間お世話してしまいました。もう通信はこないのかな?」「どうしたのかな?」と心配をおかけしたのでは無いでしょうか。師走前に師走のようにててこまいてしまっていて、それで「もろスタッフ松本さん、熊田さんのおかげで」とお礼を言いました。編集段階で熊田さんに参加していただきましたし、印刷ではいつも松本さんにおまかせしていたことについてあります。内容もみなさんからあらゆる角度から参加していただき、そのご広からてきました。

さまざまなおもいでをのせて、今年もすきよ、めでたます。来年は1月にお返りできるように思います。来年もまた楽しい通信にしていけますようよろしくお返りください。

一足お先に
よいお年をお迎えください



(田中)

東京蜘蛛談話会

本部 〒191
東京都日野市豊田 1896
萱山鳥 泉方 TEL.0425.(81)712P

発行責任者:(通信原稿受付)

〒190-12
東京都西多摩郡瑞穂町武蔵41
田中理恵 TEL.0425(57)0355

通信 No. 20